

# 引退車両のゆくえ 新聞



みなさんは引退した車両はどこに行くんだろう？ そう思ったことはありませんか。引退した車両は基本的に解体されます。それ以外の例としては保存・改造・譲渡があります。その例を調べてみました。

205系

日本 インドネシア

ビフォー アフター

譲渡された車両は、塗装変更や投石対策の金あみを設置し運行している。日本の中古車両は空調が付いていることや車両の性能が優れていることで人気が高い。

→

関東の通勤用に作られ、引退後譲渡。船でインドネシアへ運ばれた。インド日本は車両メンテナンスや乗務員の教育なども支援している。

近鉄改造ゆき FOR KINTETU-KAIZOU

ビフォー 12200系

アフター

おもによし

外観は高級感のある紫のメタリック塗装に変更。貫通扉を無くして座席数を減らし、販売力ウンターやライブラリーを設置。

→

車体前面に貫通扉を設置し、二両から十両まで編成を変えられた。特急列車として、近鉄の標準軌線区で活躍した。

1000系

東急・長電 8500系

小田急を引退後、譲渡されたロマンスカー。連接車が譲渡されるのは日本で珍しい。※連接車とは：車体間に台車を設置して二つの車体を支えている車両。

譲渡 長電

JOUTO NAGADEN

長野電鉄には、他社から譲渡された車両が多く走っている。

成田空港への特急、成田エクスプレスとして登場した。長野電鉄はそれを譲り受けワンマン運転対応に改造。名称はスノーモンキー。

姿は東急のままで、凍結防止にドアレールヒーター、耐雪ブレイキなどの改造がされている。

あしがき 夏休みに長野電鉄失と鉄道文化村にいき、車両の写真を撮って来ました。貴重な車両を見れて乗れて嬉しかったです。これかもエコのためにもなるべく解体されずに保存されるといいなと思いました。

## 碓氷峠鉄道文化むら

あさま色 189系 国鉄色

碓氷峠で活躍した鉄道車両や、国鉄時代の貴重な車両を保存・展示している。

保存



横川、軽井沢間の碓氷峠は急勾配であるため、様々な対応工事をしなければならぬ。碓氷峠で運用していた189系の老朽化が進み、そこで189系を改造し、横軽仕様に変更したのが189系。文化村で保存されているのは先頭車一両のみの保存と先頭車中間車計二両の保存があります。

時間短縮のため、アプト式を廃止し（歯をかみ合わせて滑らないようにす）、粘着（粘着）を利（粘着）用（粘着）用。電気鉄道での動力保存は珍しい。